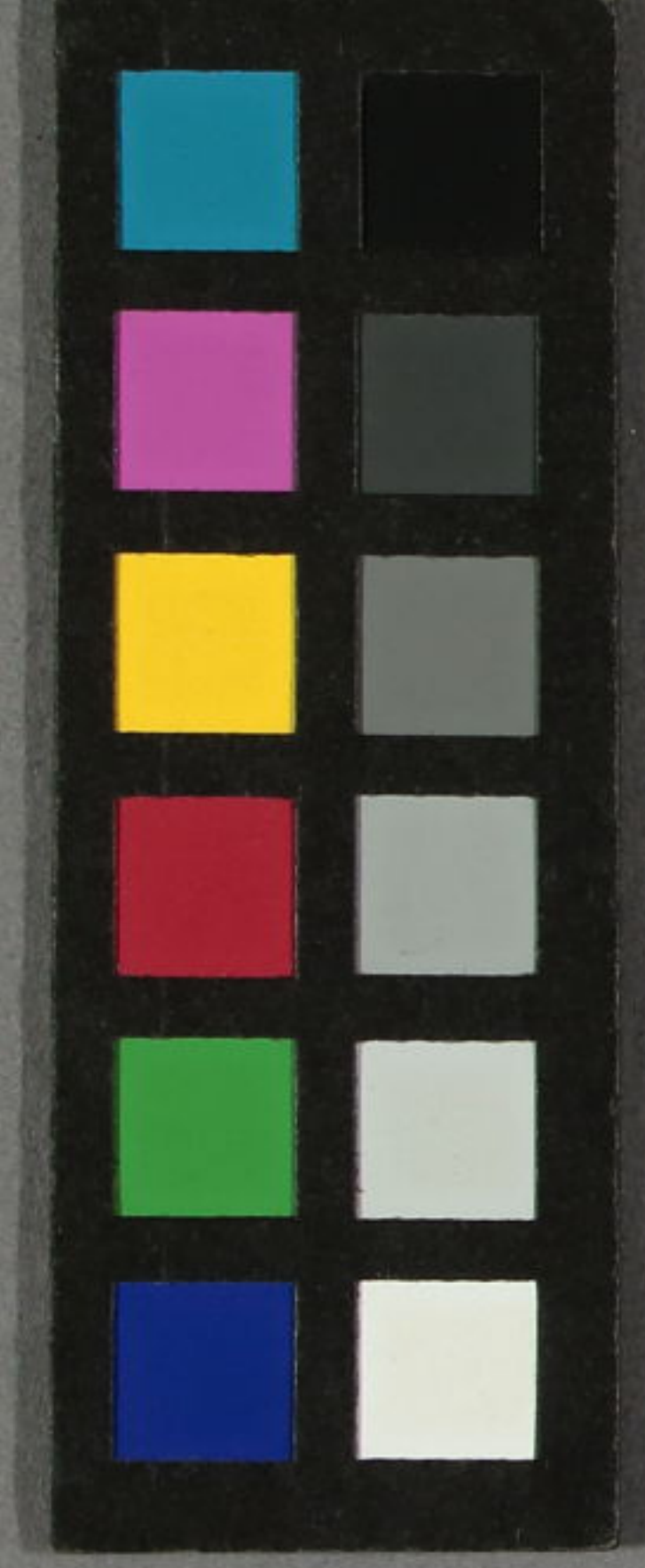






明和辛卯

試筆

子規亭

春初心帆子見自り

吐月

まゝの水

春興

常々や習ひたる日一啼立

明和8年

梅あみい

桜あみあ

夕のすけと富士のふり

年のうけ

五

倭心子

後書



初めあふあふとわらう

杉風子

梅あみい

五



みゆき 何故か魚を白く炙

あつとと森のいとわや福来竹

なりともなく
かゝる市場はたゞ

帳の足しぬ海よりまづ一ヶ月の欠

燎之紙也乎也文也

内 へ 笑 へ 何 へ 何 へ 福 来 ず

佐の常屋の李城の奥

え 易也と上下の可決也

瑞中堂

花兄

日
石

飛帛

少年
榮子

此其限之明也

[illegible]

名水亭子沙塘橋八波亭

きく掃やまの家への客うへ

おきしるやまのたのしみ

山
東
省
會
館
一
年
之
後

名水亭
井の字

一 被上咽之 文心室

新蒲

千牛

南居

鬼秀

まゝのや宮の玉もれ 春宮
 湯きゝひをちきゝのや姫御 〃
 平さゝ思ふやあゝ 来し初り新 漢舟
 碑さゝて事れちあゝ思ふらん 〃
 一字すすり年々や筆ちゝめ 大斗
 橘や帳とりとゝとすれ氷 〃
 福乃るやにゝきゝゝの夫 女 婦と
 ゆゝゝやとゝ物ほふ女子とも 〃
 太美の松きゝとゝと朝の夫 其童

まゝのや宮の玉もれ 春宮
 湯きゝひをちきゝのや姫御 〃
 平さゝ思ふやあゝ 来し初り新 漢舟
 碑さゝて事れちあゝ思ふらん 〃
 一字すすり年々や筆ちゝめ 大斗
 橘や帳とりとゝとすれ氷 〃
 福乃るやにゝきゝゝの夫 女 婦と
 ゆゝゝやとゝ物ほふ女子とも 〃
 太美の松きゝとゝと朝の夫 其童

あふのちみみ紙束乃はり

素子

幾や代と結あうてや飾備を

巨海

糸あはれぬくふあけの市

、

あけのきけえやうけみれ

右竹

年たもく潮く者の縁ふ

、

あけのけけく年とる初りれ

一瞥

あけのけけく年とる初りれ

、

年いふ川拾ふてはむのき

梅舎

聖くくあはれまうむと年の梅

、

海くくあはれまうむと年の梅

呂京

あけのけけく年とる初りれ

糴半

あけのけけく年とる初りれ

、

あけのけけく年とる初りれ

成我

あけのけけく年とる初りれ

、

あけのけけく年とる初りれ

女

みち

あけのけけく年とる初りれ

、

門まじりや柳は伊勢の輪の秋
 一寸のむまり人や年の市
 路のさくや咲きあやや飾
 焼きや雲は掛る古き
 己のきりや伊勢のりち馬
 馬折の腰はかりや紫井
 春二木連理をくや初
 焼きやや紫井のきりや馬
 門まじりや柳のきりや馬

湖堂
 後白
 女
 揚花
 昔成
 龜求

許さふもたふふ紫井のきり
 春二木連理をくや初
 焼きやや紫井のきりや馬
 門まじりや柳のきりや馬
 焼きやや紫井のきりや馬
 門まじりや柳のきりや馬
 焼きやや紫井のきりや馬
 門まじりや柳のきりや馬

子交
 然我
 其る
 和水

八るうは月代の花咲く木の葉 如風

るなわおもはるまの福はち 一

まゆやうしきなの目まゆ 長羽

わのちこさくしきとさくしき 一

あまのついで

まゆさくしきとさくしき 茶巻

まゆさくしきとさくしき 一

まゆさくしきとさくしき 連風

まゆさくしきとさくしき 一

いざなふ富士の緑やみけの美 とき川

ほろのうめぬきやとさくしき 一

まゆさくしきとさくしき 伯賢

信ふのびるをさくしきとさくしき

武大詩西

まゆさくしきとさくしき 西羊

まゆさくしきとさくしき

南総連中

まゆさくしきとさくしき 蓼下

高きやまのきぬをり
 掛るにるゝ帰路やとの胡
 波もきぬ載て能るや袖の浦
 穴熊もきぬや中をるの影
 くはるの價もきぬ大崎の
 掛細のきぬあやち屋間
 けとて限るはきぬくゝぬ
 くらげと乗るきぬや田の奥
 りふくや守のなつゝ大崎

都友
 吏英
 金波
 馬勢

高きやまのきぬをり
 掛るにるゝ帰路やとの胡
 波もきぬ載て能るや袖の浦
 穴熊もきぬや中をるの影
 くはるの價もきぬ大崎の
 掛細のきぬあやち屋間
 けとて限るはきぬくゝぬ
 くらげと乗るきぬや田の奥
 りふくや守のなつゝ大崎

高き
 都友
 吏英
 金波
 馬勢

仕人服の袴袴きやふふふ

聖毛

一羽きち二羽とくつた川馬

南壽

仇波ハ三ーと年の子深し

大藏

山くきまふ城のちとまの矢

金洞

と波やけーの金ふな

、

赤いあゝと年のつと初す

布川

りーとむふふや梅の矢

、

年経や香しゆり軒の矢

吐泉

ちく年経あゝふりて度り

、

玉言

四てま川ちの矢ひや不二の矢

跡糸

り年と進ふふや牛くら

、

ちりまや四て球の矢ひ富士

秋葉

万葉も桶と鼓やーの市

、

千重のむえふふり福来村

根元

杉雨

年経も四ーハ志の江の那

、

あゝ玉とみふふ初日くれ

小佐貴

村雲

年の尾れ糸くさや流の矢

、

さふねくさハあふり梅屋

栢橋

野牛

ひあひゆゑん〜とあふれ 田側 山之

宵中〜〜旭あふや紫井〜

まふ風のりはふ女はうあふの膚 流石系 月嵐

まふあふ〜〜鼓や〜〜あ

十〜のきれ〜や松の葉 戸面 吐缸

まふ〜〜のま路や松〜

描〜〜〜 布引 砂川

まふ〜〜年の飾葉

まふ卵とあふ〜雪〜 可熊

あふ〜〜〜〜古唐

あふ〜〜〜〜初雪 苗氣

あふ〜〜〜〜ちん

あふ〜〜〜〜け 山紫

あふ〜〜〜〜あ

あふ〜〜〜〜 山紅

あふ〜〜〜〜い

北総連中

細代〜〜〜 船橋 三

鶯結やうゝも河は年の空、
 初々やま川を花舟の思ふ、
 女は男を乃後納まなやまに松、
 似珠やうゝも煙を、
 哀公のあはれやうゝ年を、
 清くも水ぬ星やうゝの矢、
 南くも春をうゝやうゝの梅、
 やうゝの松をうゝやうゝの、
 春風をうゝの氷車、
 吐潮、
 九思、
 不碎、
 加木、

和泉

中野

布川

空川

千紫

力藏をうゝ冠をかき、
 梅をうゝの師を、
 うゝやうゝの金乃を、
 節をうゝの火を、
 まるやうゝの下を、
 水仙やうゝの、
 花をうゝの、
 まるやうゝの、
 初日を、
 吾友、
 梅思、
 後風、
 春江、
 臨馬、

候つてやみぬまぬのまゝに

房州連中

嘆きわくわくもきね

大川

莞尔

むいもやとくき井もき夜も

浸しなまもきやうりやうり

雨村

きききききききききききき

ちのきききききききききき

以文

人の坂まきききききききき

きききききききききききき

志浦

如扇

きききききききききききき

人ききききききききききき

樵秀

きききききききききききき

きききききききききききき

紫秀

きききききききききききき

忽戸

芦舟

きききききききききききき

きききききききききききき

神余

蘭丘

きききききききききききき

富貴の夢は多収はくうゝあは
 吐風
 海のものおや他生の夢とされ
 山をけくき川を馳しりふ夫
 松隈
 と一の舞をうとる人もあ
 好水
 その價低くて嬌一日のほめ
 影をかくてぬけけきうゝ年の秋
 京花
 夢もあつてうゝか後の柳の那
 乙女
 昔の夢をうゝか昔の秋とあ
 支扇
 初うゝや空のうゝやうゝ隙の秋
 小堂

大と一のわつおとよあうゝさす
 今細きとまりおの梅のうゝ
 斤是
 秀林
 と味をんとするのうゝや年れき
 門くや空もさるる秋の秋
 耀月
 買人ゝ價増うゝ時うゝさ
 安東
 夢もあつて夢もあつて秋の秋
 羞月
 夢もあつて夢もあつて秋の秋
 山朝
 形つての目れやうゝ師を
 岩系

みちやきひより福まで入る 吐流

解はるのき一きり星のめ 吐

敵友と志のき成や福まで 三浦

巨艦くゆえききききき 吐

ま丸くむくひらき初日の出 眉山 吉見

おもききききききききき 吐

えくくくくくくくくく 吐船 無原

ききききききききききき 吐

新電やききききききき 吐玉

新電やききききききき 吐

ききききききききききき 吐香

ききききききききききき 吐

ききききききききききき 吐文

ききききききききききき 吐

ききききききききききき 葵也

ききききききききききき 吐

ききききききききききき 南奥 江田

ききききききききききき 吐

月むくく又天元のけりるふ 太逸
 平方くひくき保く年をぬ 阿窓
 抄序くまふ川きやみぬいふ 在京
 まりらの中へ解はくきふ 下地
 令くい限あれども初日のふ 吐翠
 年のくちふまふはきや後解 府中
 まくく日やふまのふ乃きふ 若月
 持梅くくトハまきり保あれ鐘
 あくくもふいせてやきふ 清日

乾坤くもきくくくきく 山田
 いろくくくまきくく初日 吐淵
 まくくくと山くそ眼き年 吐
 おくく海れきくく又く 本折
 糸曲のおくくも一や大三十日 吐英
 門くや糸の糸ふ乃は連飾 白濱
 年の尾れきくく一や紫糸 雨蝶
 玉環の鬼もむくくや君 子光
 光陰も積きはま 焼く

くく結中 柳抄くくく二日月
 雪や能く人合く二相傳に
 花よりよる 春柳や梅のみさく
 雪くくく氷をくくく柳くくく
 結中や梅くくくあはる子る

五葉松

虚舟
 舟儀
 遥知
 龍舎
 松儀

くくくや吹くくくくくくく
 初くく人思くくくくくく
 結くくくくくくく柳くくく
 花口
 野笑
 風宿

廿

新にほる月や柳の枝隨川
 春柳や梅水のきもきのくく
 くくくくくくくくくくく
 くくくくくくくくくくく
 雪くくくくくくくくくく
 雪の程は梅くくくくく
 半成くくくくくくく
 梅くくくくくくくくく
 梅くくくくくくくくく

常室
 必親
 奇南
 常徑
 湖堂
 野町
 石孝
 後白
 糸求

草々 儀をせうきもくーのき
 拂へももる月や 燦のき
 鳥羽のふきもくもく年のき
 ゆく水や年の儀程の尾拂
 をま 娯ふふふふふふふふ

宣中
 大點
 故一
 富屋
 欠尺

好くもやきくしるふふ 柳舟
 を 荷中 追江のきふふの敷
 馬の背より 追くもくもくや年の市

山幸
 阿人
 欠来

年のふらふ儀きくもく月柳の那
 きくもくもくもくもくもくもく

魚改
 雲外

葉のきくもくもくもく

るもくもくもくもくもくもくもく
 掛もふもくもくもくもくもく

宗瑞
 素丸

初にきくもくもくもくもくもく
 けきあや年の儀波漕てり
 よくもくもくもくもくもくもく

人左
 周竹
 雷堂

ちみみ	みみ	みみ	みみ	みみ	みみ	みみ	みみ	みみ	みみ
尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾
乙兒	青雨	世榮	連太	陸山	六定	阿高	盤古		

大尾

首季	や	人			
果	人	む	も	み	ち
吐	月				
主					
雪中菴					
葵	太				

